

# 育成センターだより

編集・発行 千曲市少年育成センター  
事務局：千曲市教育委員会 生涯学習課内  
お問い合わせ：TEL 273-1111 内線 6341

## 【児童・生徒の教育相談】

\*相談日・時間  
土・日曜日及び祝日を除く毎日  
AM9:00～PM5:00  
\*場 所  
市総合教育センター内（埴生中学校敷地）  
教育相談センター  
電話相談・面接相談 273-5105（直通）  
（秘密厳守）

## 【青少年の生活相談】

\*相談日・時間  
原則として月・水・金曜日とします  
AM9:00～PM4:00（要・予約）  
\*場 所  
千曲市役所 戸倉庁舎 3階  
少年育成センター（生涯学習課内）  
電話相談・面接相談 273-1111（内線 6344）  
（秘密厳守）

### 今月の家庭の日 1月21日（日）

今年一年も、「おはようございます」「いただきます」「おかえりなさい」「おやすみなさい」など、家族みんなが声を掛け合い、家族全員の心が通い合う家庭にしていきたいと思います。

### メールでも相談をお受けします

（24時間受付）

E-mail : [youth@city.chikuma.nagano.jp](mailto:youth@city.chikuma.nagano.jp)

相談員がメールでお答えします。

（秘密厳守）

## 人生の先輩

戸倉上山田地区少年補導委員

新年 あけましておめでとうございます。今年も地域の皆様のご協力を得て始まります。宜しくお願いいたします。子ども達、未来に向かって自信を持っていきましょう。

昨年耳を疑うような事故、事件が多く有りました。ちょっとだけでも思いやりや心配りがあれば、防げたに違いないことが多かったのではないのでしょうか。そういう中で、子ども達は毎日学校へ通って、勉強・運動と体を動かして努力しています。だからこそ、子ども達を大人たちで守ってやらなければなりません。そのためにも、人生の先輩であるわれわれが真剣に話を聞いてやり、子ども達が素直な気持ちで「あいさつ」の習慣が出来る環境をつくっていききたいと思っています。自分自身を振り返ってみると、このことはなかなか最初から出来るものではありませんでした。初めは「あいさつ」する側、される側お互いにぎこちなかったのですが、一回「あいさつ」をすると、直ぐ声が出るものですね。するとその後、お互い話が続いていき、子ども達の目が輝いていました。また、子ども達は体験したものは覚えているものです。わがままを言っても良いこと、悪いことの判断をして受け継いでいってほしいと思います。

補導委員の活動も今年の三月で終わりますが、子どもより周りの大人たちが勉強しなければいけないと実感しました。また、書くこと、伝えることの難しさも感じています。これからも、子ども達に携わるボランティア活動を続けていきたいと思っています。

今まで活動にご協力していただいた地域の皆様にお礼を申し上げます。

ありがとうございます。



第3日曜日は家族ふれあう「家庭の日」 増やそう会話、つくろう思い出！

— 正月に家族がそろう大切さ —

## ～育成センターの活動より～

新しい年「戌年」を迎えました。年末の活動の様子や今後の予定についてお知らせいたします。

1. 八幡「武水別神社大頭祭」に際し、12月11日・12日・13日・14日に特別巡回を実施
2. 育成センター会議1月10日（水）、第6回定例補導委員会1月11日（木）に開催
  - ・11月の強調月間における環境チェック活動実施結果の報告
  - ・11・12月の補導活動を振り返って
  - ・1～3月の補導活動：定例巡回補導：1月1回、2月2回、3月1回  
PTAとの年度末合同補導：3月16日～28日
  - ・一年間の補導活動を振り返って：アンケートを実施



# 補導日誌から



### 【 必須店舗巡回活動より 】

#### 確実な年齢確認

11月20日（月） 3:00pm～5:00

上山田地区の店舗を巡回しました。巡回したコンビニ店では、成人コーナーははっきり区別されていました。酒・タバコ販売の年齢確認等は、確実にしているとのことでした。旧観光ホテル駐車場では、市の廃棄物処理車と会いました。軽トラいっぱいの回収ゴミを積んでいました。ゴミの中には、新聞に包まれたゴミも出されているとのことでした。最後に上山田小学校へ回りました。正門に行ってみると高学年の下校時間帯で、大勢の子ども達が元気にあいさつをし家路についていました。帰っていく途中でもグリーンベルト内を正しく歩いていました。

#### 県条例を遵守

11月21日（火） 3:00pm～5:00

埴生地区の店舗を巡回しました。西山に雪が残る寒い一日でした。巡回したカラオケ店では、入店年齢のチェックも厳守されており、ある店では県条例の提示までしているとのことでした。また、CDレンタル店、インターネットカフェでは、成人コーナーとの区別もきちんとなされており、店側もその点については特に留意しているとお話でした。スーパーA店の書籍コーナーでは、成人向けと思われる書籍はなく一般週刊誌のみが置かれており、環境に関する問題は感じられませんでした。ただ、玩具付き菓子の万引きが時々発生し、トイレ内に抜き取られた後の菓子が放置されるといった事案があるとのことでした。

※県条例：長野県子どもを性被害から守るための条例…[18条：深夜外出の制限]…保護者は、通勤、通学その他の正当な理由がある場合を除き、深夜（午後11時から翌日の午前4時までをいう）に子どもを外出させないように努めなければならない。など

#### 成人向け雑誌への配慮

11月22日（水） 3:00pm～5:00

屋代中学校区の6店舗を巡回しました。ひまわりっ子のシール（青少年健全育成協力店のステッカー）が無かった店舗があったので、配布しました。コンビニの4店舗では、成人向け雑誌はスタッフの見え

る位置に配置されており、青少年の健全育成に配慮がなされていました。スーパーB店では、成人向けと思われる書籍はありませんでした。森の岡地地区にイノシシが出たという連絡を受け、店舗巡回の間を使って該当地区住宅内に車を走らせ巡回しました。15:15から15:35まで小学生の下校時刻に合わせて巡回しました。千曲市の公用車も数台巡回していました。

### 【 定時巡回活動より 】

#### 子どもが育つとき

12月 4日(月) 3:00pm~5:00

伊勢宮公園内には、若いお母さんと6歳の男の子、3歳位のお子さんが遊具で遊んでいました。6歳のお子さんが、私達にビニールの袋(1袋)を差し出しました。男の子が言いました、「お母さんと一緒に公園内のゴミ拾いをしました。ゴミ袋を片付けてください。」と。「ありがとうね。おじさんたちが片付けるよ。」と返事をしてゴミ袋を引き取りました。若いお母さんに、「ゴミをお子さんと一緒に片付けていただきましてありがとうございます。」とお礼の言葉をかけてきました。お母さんとお子さんが公園でゴミ拾いをしている姿には、感心いたしました。初めての体験でした。

#### そうなんだけど

12月 4日(月) 3:00pm~5:00

ある公園では、高学年の男の子2人が、元気よくサッカーボールで遊んでいました。ボールが道路に飛び出してしまい、慌ててボールを追いかけて行きました。大きな声で「危ないから急に道路にとびだすな!」と注意しました。「気を付けているから大丈夫です。」との返事。「気を付けているから大丈夫」…、それはそうだろうけど。2人には「急に道路に出ると危ないから」と再度注意喚起をして、公園をあとにしました

#### 加減が分からなくなって

12月 5日(火) 3:00pm~5:00

C児童館でプロレスごっこをしていて、少々危険と思われることがあったようです。館長先生から、子ども達にどのような行為が危険だったのか、そして、その行為を通して命の大切さについてお話される場所へ巡回に行きました。子ども達を取り巻くゲームの世界では、傷ついたり死んだりしてもまたすぐ復活します。一人一人の命の大切さを、身の回りの出来事をもとにして事あるごとに子ども達に考えさせるのは、大事なことだと感じました。

### 編集室の窓

#### お月様が見ていなさるよ



車で冠着駅から冠着山へ向かった時のことです。『冬季通行止め』…12月に入っていたので予想はしていたのですが、「通行止め」の柵が二重に置かれていました。ただ、軽トラ1台ぎりぎりの幅で開いていました。ちょっとずらせば普通車も入れそうでした。天気も良く、雪もない…、目の前は動かせば通れる通行止めの柵。…「せっかくここまで来たのだから」「だれにも迷惑をかけていないし」…聞こえの良い言葉で言えば『自己責任』。ところが何と、隣の畑ではトラクターで田起こしの真っ最中。「早く終わって帰ってこないかなあ」と悪魔のささやきが…。そこに居続けることのうしろめたさもあり、とりあえず諦め、他で時間をつぶして誰も見ていなければ再度…そんな邪念を抱きながら修那羅峠へ向かいました。

峠の石仏群を見て歩きました。静寂な自然の中に入ると、冷静になれるようです。「やっぱりだめだよ、冠着山の神様におこられちゃうね。」と。スッキリして次の目的地へ向かえました。

だれも見えていないよ。だけどお月様が見ていなさるよ…そんな昔話「泥棒親子」を思い出しました。

夢と希望を抱き、中学校に入学してきた1年生。自分の可能性を信じ、目標に向かって勉強や部活動に取り組んでいる1年生の夢を紹介します。

私の将来の夢は、保育士です。その理由は二つあります。一つ目は、小さい子たちと遊んだり、お話をしたりしたいと思ったからです。私には、10歳年上の姉がいて、結婚もして子供が二人います。よく二人の子供の面倒を見ていたら、小さい子たちが好きになっていきました。二つ目は、以前ニュースで保育園などに子供たちを預けることができない主婦や仕事をしている人たちが困っているということを知りました。ですから、保育園を増やせるように、人を増やせば困ることもないのではないかと思ったからです。

自分の夢をかなえるためにも、まず高校に行って、専門学校に進学して資格が取れるように、今から勉強を頑張ります。

北澤 瑠

僕の将来の夢はレーサーです。理由はいくつかありますが、一番はレースが面白いからです。ゴールの目の前で抜かされることがあったり、少しの判断ミスで命を落としてしまったりすることもあります。でも、その緊張のなかで車を運転することはとても面白いことだと思うし、優勝したときにはとても嬉しいのだろうと思います。将来の夢がレーサーというのは、少し子どもっぽいと思われてしまうかもしれませんが、それでも僕はレーサーになって大好きな車を運転してレースに出たいです。そしていつか優勝もしたいです。

村松 稜太

私の夢は、二胡奏者です。私は幼稚園の頃に二胡に出会い、小学校の頃から習い始めて今も続けています。始めの頃は、ただ二胡の音が好きでやっていたのですが、最近では、二胡を演奏することを仕事にできたらいいなと思うようになりました。プロになったら、二胡の音でたくさんの人を笑顔にしたいです。

プロになるために、人前で演奏することに慣れたり、色々な二胡奏者の演奏を聴いて勉強したり、今は無理だけど二胡は中国の楽器なので中国へ行ったり、色々なことに挑戦していきたいです。部活、勉強、二胡の練習を両立させることは大変だけど、頑張っていきたいと思います。

北澤 のどか

私には、2つの夢があります。1つは、助産師になるという夢です。助産師といってもただの助産師ではなく、たくさん赤ちゃんを安全にとりあげ、たくさんのお母さんを笑顔にできる、そんな素敵な助産師さんになりたいです。

もう一つは、戸倉上山田中学校の女子バレーボール部として全国に出場するということです。これは、あと1年と少しという限られた時間の中で絶対に叶えたいです。

伊藤 もも

僕の夢は、オリンピックで日本代表としてコートの中に立って活躍することです。なぜかというと、僕はバスケットボールが大好きで、日々の練習をむだにせず一生懸命やっとうまくなりたいと思っているからです。そのためには、学校生活を落ち着いて楽しく送り、やる時は誰よりも積極的にやるということ意識していきたいです。部活動はバスケットボール部に入っています。日本代表の前に、まずは部活動の中で誰にも負けない体力・シュート力・ディフェンス力を身につけ、部活の中で一番になりたいです。わからないことがあれば顧問の先生に聞いて、少しずつでもいいからプロに近づいていきたいと思っています。

金子 怜生